



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2018th

平成31年1月7日

1月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

《学校教育目標》 手をつなぎ 進んで学ぼう 滝小の子



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344,0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/> **滝頭小** **検索**

Mail: y3takiga@edu.city.yokohama.jp カラー高解像度版は学校 HP に掲載中 Every day



絆いっぱい 笑顔いっぱい 大好き滝小
Everlasting Bonds, Shining Smiles, We ♥ TKG

91年目も笑顔いっぱい

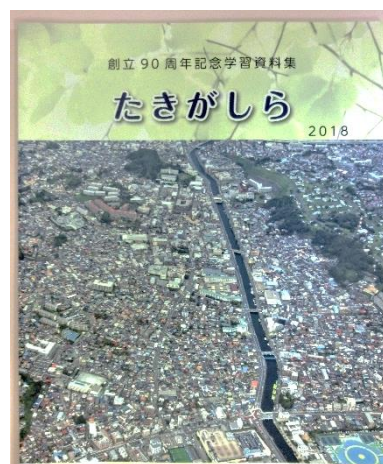
校長 鶴飼 数夫

新年明けましておめでとうございます。

新しい年、2019年が始まりました。ご存じの通り、この平成31年は、5月1日に新しい元号に変わります。まさに「平成最後の年」を迎えた訳です。学校では、3月までは「平成30年度」が続きます。

年末のテレビでは、平成最後の年の瀬ということもあり、この30年間を映像で振り返る特集番組が各局で放映されていました。改元したからといって、すぐに世の中がガラッと変わるわけではありません。あくまでも日々の生活の積み重ねによって社会は連続的に変化し、それを一定の期間が過ぎてから振り返ることで「歴史」として認識されていくものです。ですが、世の中では、確実に一つの時代が終わり、新しい時代の幕開けのような機運が高まっていることは事実ですね。30年間という時間は、括ってみるにはちょうど良いタイミングのようです。私も自分の人生での出来事と照らし合わせながら、つい評論家めいたことを考えてしまいます。

平成の30年間を西暦で、1990年代、2000年代、2010年代の10年ごとに区分してみることも可能です。平成元年である1989年は、昭和の終わりに起こった「バブル景気」を引き継ぎ始まりましたが、まもなくバブルが崩壊し、混迷の1990年代と20世紀末に突入します。世界情勢では、ベルリンの壁が崩壊し、戦後の東西冷戦の終結を迎えますが、湾岸戦争を始めとして各地の局地戦やテロは依然として続き、世界平和の実現とはほど遠いものとなっています。また、この30年で一番社会生活に影響を与えたものとして、インターネットなどの「IT」技術の進歩が上げられます。特に、2000年代に入ってから急速に普及するスマートフォンは、人々のコミュニケーションの方法を根本的に変え、社会の仕組みさえ変えてしまいました。そんな中で起こった東日本大震災により、日本中が大きな悲しみに包まれますが、それを契機として、2010年代は、「絆」という言葉に象徴されるように人々のつながりの大切さを再認識させられることとなりました。そして、来る2020年には、東京で再びオリンピックが開催されるという時代のターニングポイントを迎えました。



滝小の30年をふりかえる
90周年記念資料集

学校では、どうでしょうか。本校では、ちょうど昨年に創立90周年を迎え、皆様と一緒に盛大にお祝いしました。その中で編纂した「90周年記念資料集」は、先人の残した「60周年記念資料集」をベースに、平成になってからの30年の学校や地域の歩みを加えて再編集しました。今こうして改めて読み返してみると、昭和から平成にかけての90年間を激動の歴史と共に学校も歩んできたことがよくわかります。

さて、これからの本校が目指すもの、大切にしていかなければならないものは何なのか、その答えは、既に90周年のスローガンの中に示されています。それは、「絆」「笑顔」「大好き」この3つの言葉です。その中で、特に今年は「好」という一文字をクローズアップしていきたいです。自分を大切に思うためには、先ず相手のことを大切に思うこと。その結果、相手に大切にされる自分が生まれてくること。そうすることによって自然に自分を含めた滝小のことが大好きになる。こんなことを子どもたちに伝えていきたいと思っています。91年めも、笑顔いっぱい大好き滝小で行きたいと思えます。